

2019河川防災・減災セミナー ～水防災意識を再構築する 新たな洪水ハザードマップ 新たな行動へ～

■内容：本セミナーは、住民の方への洪水ハザードマップの円滑な周知※を目的として、地域防災の担い手（防災士等）の方を対象に、協議会より洪水浸水想定区域図の見方と気候変動等を説明し、大分大学より避難行動の考え方等について講演した。
※大分市は3月から住民説明会を開催予定

■日時：平成31年2月15日（金） 13:30～16:00

■会場：J:COMホルトホール大分 市民ホール

■主催：大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会（下流部）
大分大学減災・復興デザイン研究センター

■参加人数：約600人（報道発表）

■取材：大分合同新聞、OBS、OAB、大分ケーブルコム

■説明／講演者

- ①国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
- ②大分県土木建築部河川課
- ③大分市
- ④由布市
- ⑤気象庁大分地方気象台
- ⑥大分大学減災・復興デザイン教育研究センター

自然災害への防災・減災に対する意識について強化していく必要がある。大災害は必ず発生する。備えが必要であり、住民目線のソフト策が大変重要。



挨拶（大分河川国道事務所）



展示



受付



司会
（大分大学）



※セミナーは減災対策協議会と大分大学の共同主催として初開催。会場は満席に近く、参加者の約8割が防災士・防災会長・自治委員。

2019 河川防災・減災セミナー 【説明／講演の概要】

①国土交通省 大分河川国道事務所



水防災意識社会再構築ビジョンと洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

洪水浸水想定区域図と洪水ハザードマップの違い、想定し得る最大規模の浸水想定区域図の見方を説明。

②大分県土木建築部河川課



水防災意識社会再構築ビジョンと洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

県管理区間の浸水想定区域図について作成状況を説明。県管理区間の浸水想定区域図の公表は平成31年3月末を予定。

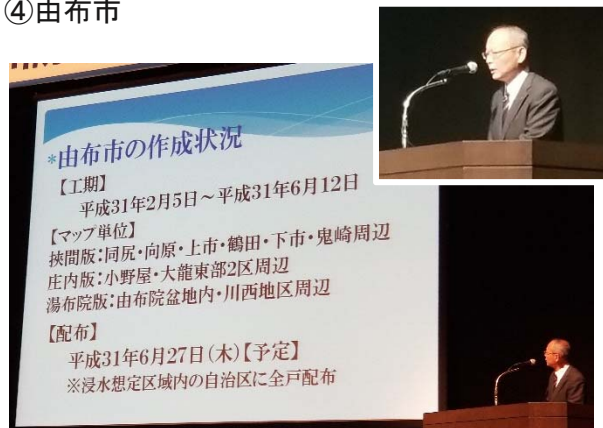
③大分市



ハザードマップの作成状況について

早期立ち退き避難が必要な区域とハザードマップ作成のスケジュールを説明。平成31年3月に地元説明会、8月に配布予定。

④由布市



ハザードマップの作成状況について

洪水ハザードマップ作成のスケジュールを説明。平成31年6月27日に配布予定。

⑤気象庁大分地方气象台



大分県の風水害と気候変動

大分県の特徴的な大雨のパターンを説明。また、災害をイメージしやすい危険度分布について説明。

⑥大分大学減災・復興デザイン教育研究センター



減災・復興デザインからみた大分市の氾濫特徴とある地区の風水避難行動計画のチェック

減災と復興デザインについて講演。災害のリスクを知り被災をイメージすることが重要であることを紹介。